

新型コロナウイルス感染後、認知症のリスクが上がる？

10/21 忽那賢志 感染症専門医



(提供:イメージアート)

はじめに

「新型コロナウイルスに感染すると、将来の脳の健康、特に認知症に影響はあるのか？」——この疑問は、パンデミックを経験した多くの人々が抱える不安の一つではないでしょうか。この問いに光を当てるため、英国で50歳以上の成人5万人以上を対象とした大規模な研究が行われました。この記事では、その最新の研究結果を分かりやすく解説していきます。

1. どんな研究が行われたの？

今回の研究の概要は、以下の3つのポイントにまとめられます。

- ・ 対象者： 英国在住の50歳以上の成人
- ・ 比較グループ： 以下の3つのグループを比較し、認知症の発症リスクを分析しました。
 1. 新型コロナウイルスに感染した人々
 2. 新型コロナに感染していない人々
 3. インフルエンザや肺炎など、新型コロナ以外の呼吸器疾患にかかった人々
- ・ 追跡期間： 感染後、平均で約2年間にわたり、新たに認知症を発症するかどうかを追跡調査しました。

2. 研究の主な発見①：新型コロナ感染で認知症リスクは上昇したが、種類に特徴があった

研究の最も重要な発見の一つは、新型コロナウイルス感染と認知症リスクの関係性です。まず結論として、「新型コロナに感染しなかったグループ」と比較して、「新型コロナに感染したグループ」では、新たに認知症を発症する全体的なリスクが高まることが示されました。

しかし、そのリスク上昇は認知症の種類によって異なっていました。

- ・ **アルツハイマー病**： こちらのリスクに統計的に有意な上昇は見られませんでした。

・ **血管性認知症**： リスクが約 1.77 倍（77%増）と顕著に上昇しました。このリスク上昇が、全体の認知症リスクを押し上げた主な要因であると考えられます。

※血管性認知症とは、脳の血管の損傷や血流の悪化が原因で起こる認知症のことです。

3. 研究の主な発見②：リスク上昇は新型コロナ「特有」の現象ではない可能性

この研究のもう一つの重要な発見は、他の呼吸器疾患との比較から明らかになりました。

「新型コロナに感染したグループ」と「インフルエンザや肺炎など、他の呼吸器疾患にかかったグループ」を比較したところ、**認知症を発症するリスクに統計的に有意な差はありませんでした。**

この結果は、「認知症リスクの上昇は、新型コロナウイルスだけが持つ特別な影響というよりは、重い呼吸器疾患全般が脳の健康に影響を与える可能性を示唆している」ことを意味します。これは、重い呼吸器疾患が引き起こす全身の炎症や血流への影響が、共通して脳の健康を脅かす要因となるためと考えられています。

4. 特に注意が必要なのはどんな人？リスクが高まる要因

研究では、新型コロナに感染した後、特に血管性認知症のリスクが高まった人々の特徴も分析されています。以下のような既往歴や特徴を持つ人々で、リスクがより高まることが分かりました。

・ **精神疾患の既往歴がある人** リスクが約 5.3 倍と、調査された要因の中で突出して高く、最も注意が必要なグループであることが示されました。

・ **糖尿病の既往歴がある人** リスクが約 3.7 倍高くなりました。

・ **その他の要因** 以下のような特徴を持つ人々でも、リスクの上昇が見られました。

- ・ 65 歳以上
- ・ 女性
- ・ 高血圧
- ・ 心血管疾患
- ・ 神経疾患
- ・ ワクチン未接種

5. ワクチンの役割とは？

今回の研究では、ワクチン接種の有無がその後のリスクにどう影響するかも調査されました。

結果として、「ワクチンを接種していなかった人は、感染後に血管性認知症を発症するリスクが有意に高かった」ことが明らかになりました。一方で、ワクチンを接種していた人では、このようなリスクの明確な上昇は見られませんでした。

この結果から、「ワクチン接種は、新型コロナの重症化を防ぐことで、結果的に脳血管へのダメージを軽減し、長期的な認知機能への影響を抑える可能性がある」と専門家はみています。

6. まとめ：私たちの生活で何に気を付ければよいか

この研究結果から、私たちが日々の生活で心に留めておくべき重要なポイントを 3 つにまとめます。

1. **新型コロナ感染は、特に「血管性認知症」のリスクを高める可能性がある。**
2. **このリスクは他の重い呼吸器疾患でも同様であり、感染症予防全般が重要である。**

3. ワクチン接種や、高血圧・糖尿病などの基礎疾患の管理が、将来の認知症リスクを抑える鍵になる可能性がある。

今回の結果を見て、過度に不安になる必要はありません。しかし、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザなどを含めた感染症の予防を心がけること、そして高血圧や糖尿病といった生活習慣病をしっかりと管理し、日頃から血管の健康を保つことが、将来の脳の健康を守る上で非常に重要であると言えるでしょう。

参考文献：COVID-19 infection associated with increased risk of new-onset vascular dementia in adults ≥ 50 years. npj Dementia. 2025;1:28.

YouTube チャンネル：くつ王アカデミア「コロナ後に認知症リスクが高まる？」



<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/aca6d660fa8d134eb03de93617488f2034daa92>